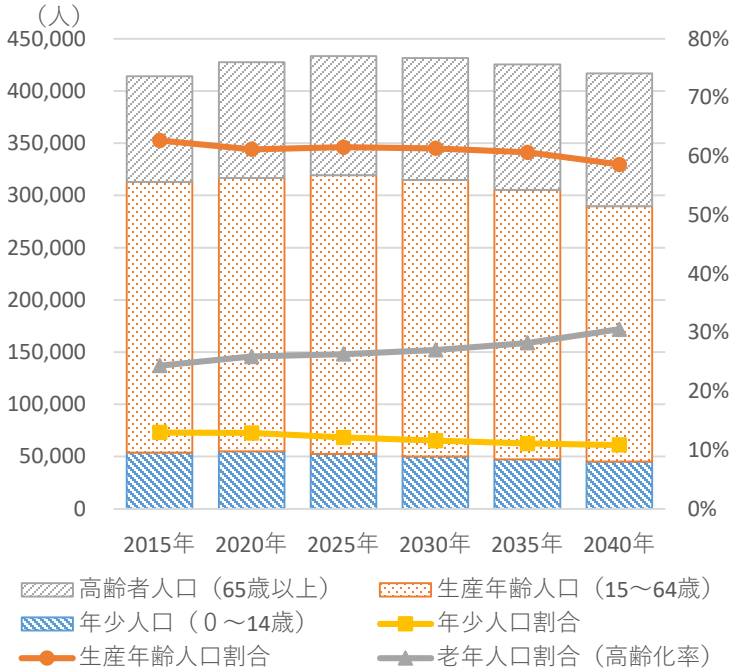


柏市の高齢化の現状

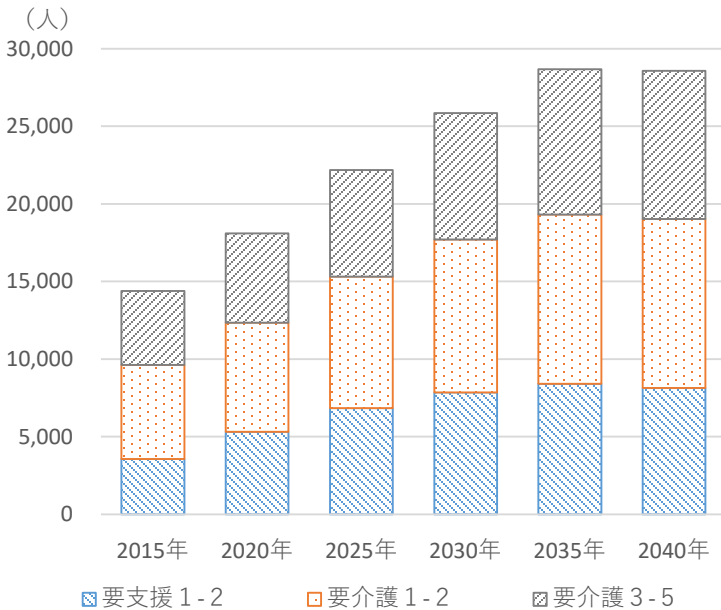
人口の推移と見込み



本市の総人口及び高齢者を支える現役世代は、2025年（令和7年）頃をピークに減少します。

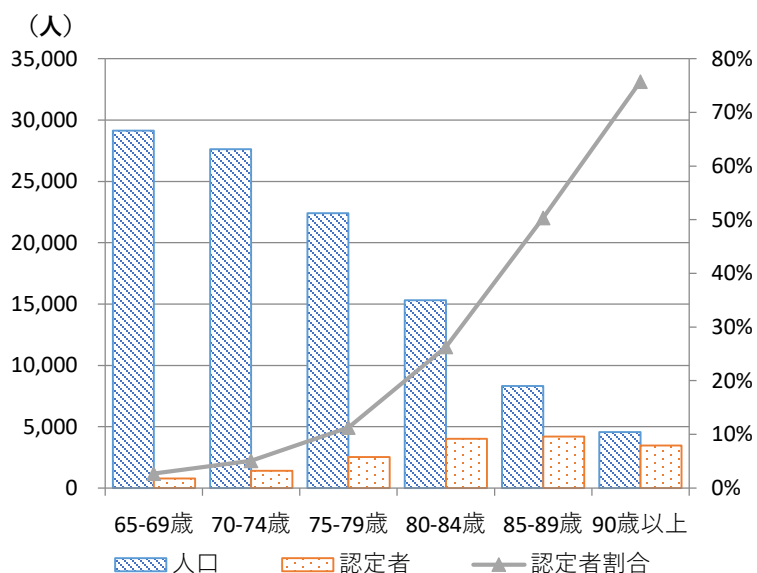
本市の高齢者人口は、2040年（令和22年）まで一貫して増加が続きます。2040年（令和22年）には現在より約1万6千人増加し、高齢化率が30%を超える見込みです。

要介護認定者数の推移と見込み



要介護認定者数は2020年（令和2年）には18,101人ですが、後期高齢者が増加することに伴い、認定者数は2025年（令和7年）に2万人を超え、2035年（令和17年）には2万9千人に迫ります。2040年（令和22年）には、認定者に占める要支援及び要介護1から2の割合が減少する一方で、医療・介護ニーズの高い要介護3から5の割合が増加します。

要介護（要支援）認定者の年齢別割合（平成30年）



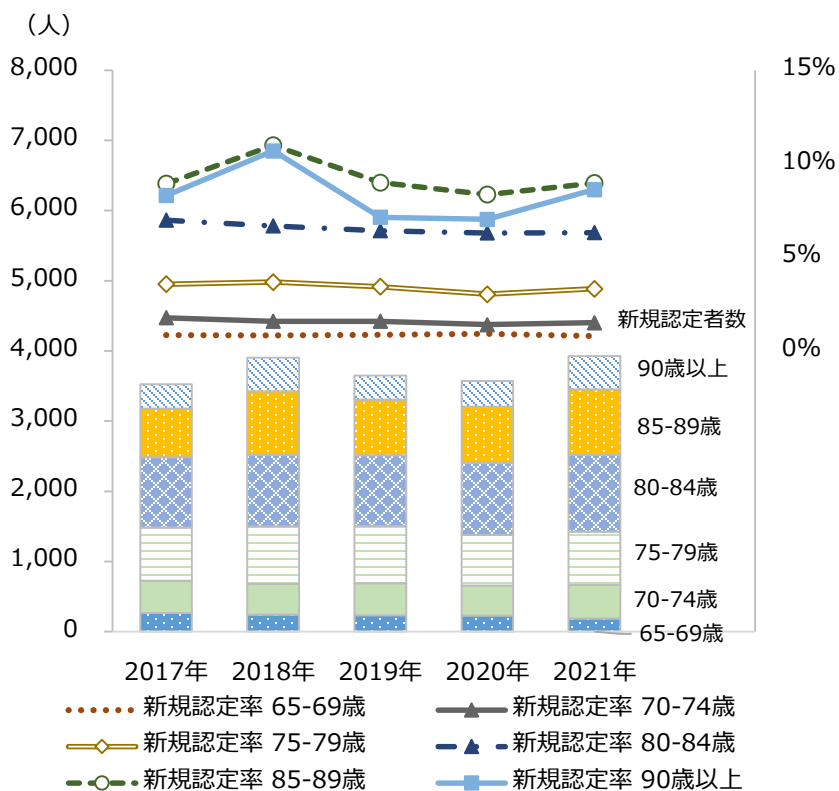
認定者の出現率（以下、認定率という）は、前期高齢者で低く、年齢が上がるほど、弧を描くように上がっていきます。80歳代後半では2人に1人が、90歳を超えると、4人に3人が何らかの介護が必要な状況となっています。

今後、後期高齢者が増加していくことに伴い、認定者数及び認定率も増加していきます。

新規認定者数と新規認定率の推移

2019年（令和元年）～2020年（令和2年）は、新型コロナウイルス感染症の影響による認定控えの可能性があり、新規認定者数は減少傾向でしたが、2021年（令和3年）には再び増加に転じています。

5歳階級別の新規認定率率は、79歳未満では5.0%未満であるのに対し、80歳以上では5.0%を超え高くなっている。特に85-89歳では、5年間の平均が9.3%となっています。

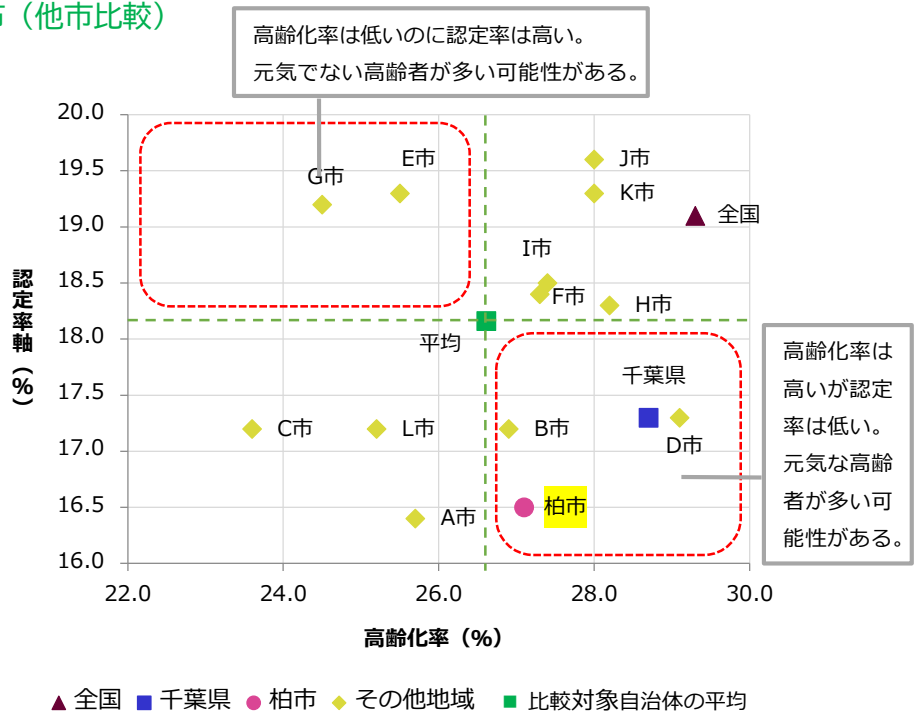


認定率と高齢化率の分布（他市比較）

全国，千葉県と比べ認定率・高齢化率ともに低くなっています。

比較対象自治体の平均と比べると，高齢化率はやや高いが認定率は低く，比較対象としている12市を含む13市の中では2番目に低い状況です。

高齢化率は比較的高く，認定率は低いため，元気な高齢者が多い可能性が考えられます。



（時点）令和4年(2022年)

（縦軸の出典）厚生労働省「介護保険事業状況報告」年報

（横軸の出典）総務省「国勢調査」および国立社会保障・人口問題研究所「日本の地域別将来推計人口」